



いくせい通信

Smile up!

～「子どもまつり」を行う意義～

2025.05.26

No. 2

酒田市青少年指導センター
酒田市中央西町2-59
TEL 0234-24-2901

初夏のような暑さで半袖姿になったかと思うと、次の日から肌寒い雨空で冬物の長袖や片付けようかと思ったストーブを引っ張り出したりと、今年は変わりやすく安定しない天気のようにです。みなさま、どうかご自愛ください。



さて、5月と言えばゴールデンウィーク、ゴールデンウィークと言えばこどもの日、こどもの日と言えば、青少協にとっては「子どもまつり」が一大イベントになります。不安定な天候の合間を縫って、今年も子どもまつりはますますの晴天に恵まれました。

しかも、今年は酒田南高の生徒さんだけでなく、酒田光陵高、酒田東高の生徒さんたちも交えての「おまつり広場」の開催となりました。参加してくれた高校生のみなさん、ご尽力いただいた先生方、そして何より育成部を中心に大活躍していただいた推進員のみなさま、ほんとうにありがとうございました。

「子どもまつり」を青少協が行う意義

これまでもみなさんと共に何度か確認してきましたが、子どもまつりを青少協が行うことの意義について、もう一度考えてみたいと思います。

コロナ以前の活動は、

①子どもたちを楽しませる活動を行い、その活動を自分の地域の育成活動に役立てる

ことが大きなねらいだったと思います。

そして、“**補導・指導**”から“**育成**”へ大きく舵を切ってからは

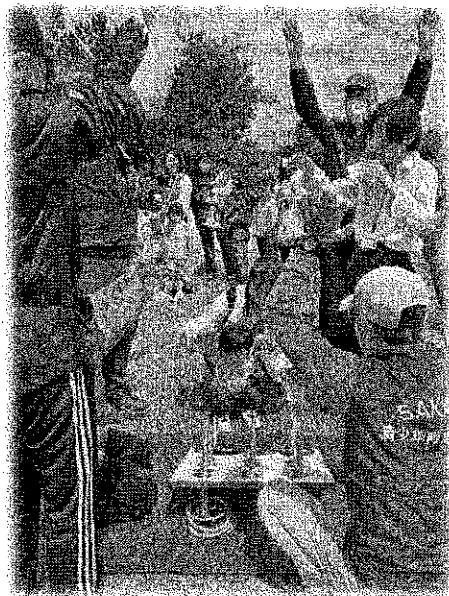
②高校生が子どもまつりに主体的にかかわることによって、自立に向けた経験知を増やす

ことが主たるねらいに変わったように思います。もちろん①のねらいもあります。

さて、②を主としたねらいと考えた時に、育成推進員の子どもまつりでの立ち位置はどうあればよいのでしょうか。推進員が積極的に仕事をして、手の足りないところなどを高校生に手伝わせるというのでは、高校生は主体的に動きません。ですから、単なる歯車として参加してもらうのではないはずです。



あの日、元推進員の佐藤仁志^{ひとし}さんが顔を出してくれていました。仁志さんが推進員のみなさんにこんな声がけをしていたんです。



「推進員も楽しんでいてとてもいいね」

推進員のみなさんが活動して、まつりを楽しんでいる参加者の反応を喜び、充実感を抱いている姿を見て、高校生は何を思うでしょう？おそらく

「こうやることで子どもたちが喜ぶんだな」

と思ったことでしょう。

“して見せて、言ってみせて聞かせてさせてみて…”

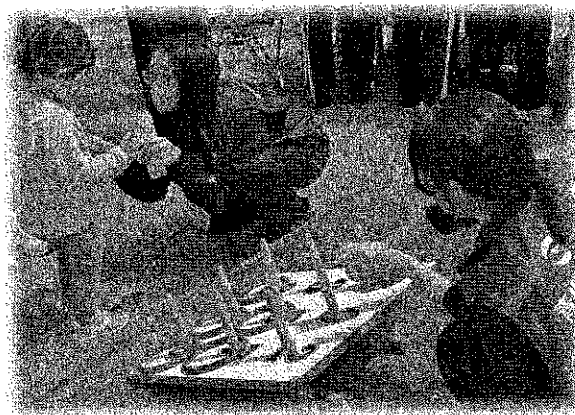
という有名な格言がありますが、推進員が高校生に見せた姿がまさしく「して見せて」だったのだと思います。

左の写真だと細かなところは見えませんが、周りのお母さんたちも笑顔で喜んでいます。学校の授業でも

「先生自身が楽しんでいることが大事」と言われることがあります。子どもまつりにおける推進員のスタンスは、まずみなさんが心から楽しんでいることではないでしょうか。

高校生の行動・アイデアに「いいね」

高校生に手伝わせるのではなく、歯車の一つとしてただ動いてもらうのではなく、**できる限り“任せる”ことが重要である**ことはこれまでもお伝えしてきました。その成果の一つが高校生企画「紙コップけん玉」でした。今回も、そのコーナーだけでなく、「折り紙色紙」「輪投げ」「ガチャポン」の各コーナーにも高校生が入ってくれました。



だいたいの流れを説明したら、あとはそこを高校生のみなさんにお任せしているところが多かったと思いますが、そうした時に「推進員はただ立っているだけ？」ではもったいないですね。なんとかそこを「育成」につなげたいものです。いろいろな推進員がやっていたのが、**高校生の活動の姿に「いいね」を送ること**でした。上の写真のように子どもへの声がけが上手だなと思ったら、小さな子どもへの支援が絶妙だなと感じたら、推進のみなさんが「いいね」を送っていました。

高校生の思いやアイデアに「いいね」を伝えることは、アドラー心理学という「**勇気づけ**」に他なりません。高校生に限らず、子どもたちは自分なりの考えを持っています。少々稚拙と感じても、“**それでいいんじゃない**”って言われたら、大きな動機付けとなることでしょう。その後押しの一言が「**育成(自立)**」に大きく作用するのだと思います。

高校生の交流活動

今回初めて、酒田南高以外の酒田光陵高・酒田東高の生徒さんがボランティアで参加してくれました。高校生の事後感想の中に“他校の皆さんとも交流させていただけたのがありがたい”“東高さんや光陵高さんに声をかけて本当に良かった”といった声がありました。違う学校同士でも、「どうする?」「こうしてみたらどうかな」とい



うように、活動中の対話の中で、一緒に悩んだり、自分の思いを伝えたりして仕事をしていたのでしょう。明確な正解を持たない中、今ある知識・情報を駆使して対話をし、活動を創り上げていったということになります。

知識は入れただけでは脳に定着しないと言われています。テスト勉強で一夜漬けがダメなのは、いくら大量に入力しても、生活や実践の中で一度も出力しないため頭に残っていないからだそうです。子どもまつりにおける高校生たちは、**対話や試行錯誤の積み重ねの中で、互いに知識の入力だけでなく、知識の入出力を同時に行っていて、そうすることで「生きた経験知」を増やしていたのではないかと思います。**

さらに、自分の思いつき・アイデアや行動が、子どもたちの楽し気な反応、笑顔となって即時評価されることでさらなる行動、出力の強力な動機付けとなっていたと思います。子どもまつりなどの**育成活動の意義がまさにここにあるわけ**です。

みんな ありがとう



New! 青少協推進員紹介 どうぞよろしくお願ひいたします

推進員の交代がありましたのでご紹介いたします。みなさんと同じ質問で!

- ① 今の私に欠かせないもの(趣味でも、人でも、モノでも)
- ② あの頃に戻れるなら…(いつ、理由も)
- ③ 私の得意技や自慢

◆「亀ヶ崎の母…カオル・タザワ」の“動物・思考”占い

(占いの詳しい内容はカオル・タザワが6月頃まで**個別にお知らせ**します。興味のある方はネットで調べてみてください。)



澁谷 妙子 様

あなたの個性は…

60分間キャラクター

①人間味あふれるためき

3分間電脳型

人思考 新月グループ

- ① 朝のウォーキング。近所の人と立ち話をするのも楽しい。
- ② 戻ってやり直したいことは、たくさんあるけれど、それなりにきついので、幸せな時間をまた味わいたい。子どもができた時かな。
- ③ 小さい頃から不器用だと自覚しているので、何回もやり直して、満足できるまでやる。生け花、ソーイング、和菓子作りもうまくできるまでやってみよう。



五十嵐 司 様

あなたの個性は…

60分間キャラクター

①人間味あふれるためき

3分間電脳型

人思考 新月グループ

- ① 映画
- ② 中学3年生
- ③ 黒森歌舞伎の役者をしています

お知らせ～8月定例会の日程

総会資料の中の「令和7年度事業計画」の中で、8月の定例会の日程を誤って8日(金)とお知らせしましたが、第1金曜日は8/1(金)でした。お詫びして訂正いたします。

8月定例会・・・8月1日(金) 18:30～

カンガエル算数



このコーナーは、読者のみなさんのピーナツおしと頭の体操にと思い始めたものですが、全国学力テストの問題などちょっと難しい算数問題を紹介しています。

教室ですと、これが先ほどお伝えしたように子どもたち同士の“対話や試行錯誤の積み重ねの中で、互いに知識の入力だけでなく、知識の入出力を同時に行っていて、そうすることで「生きた経験知」を増やしていく”ことにつながっていると思っています。

算数というと、問題が解けるようになることに注目されがちですが、級友と対話しながら試行錯誤していく行程が非常に重要なのです。算数は苦手だが、説明がうまかったり絵に描いて考えるのが得意だったり、生活力が豊かで生活場面の知識があったり…さまざまな子どもたちが机を寄せ合って考えていく営みに大きな価値、学びの意義があります。まさに「生きた経験値」が積み重なっていく場となるのです。

ですから先生も、推進員さんたちと同じように、あまり口出しせず、難しい問題への挑戦を楽しむスタンスが大事になってきます。「教える」という立ち位置よりも、共同学習者で、少し知恵があるかもしれないので“アドバイスする”とか“困った時に手を差し伸べる”など、問題の答えを知っている人ではなく、共に悩みながら解決のお手伝いをする人みたいな役目が求められます。

では、今月の問題をどうぞお楽しみください。

今月のお題(有名中学入試問題より)

120円切手を85円切手よりも10枚多く買ったところ、120円切手にかかった金額は85円切手にかかった金額よりも3300円多くなりました。

120円切手は何枚買いましたか?

